

◆概念図(イメージ図) **A案**

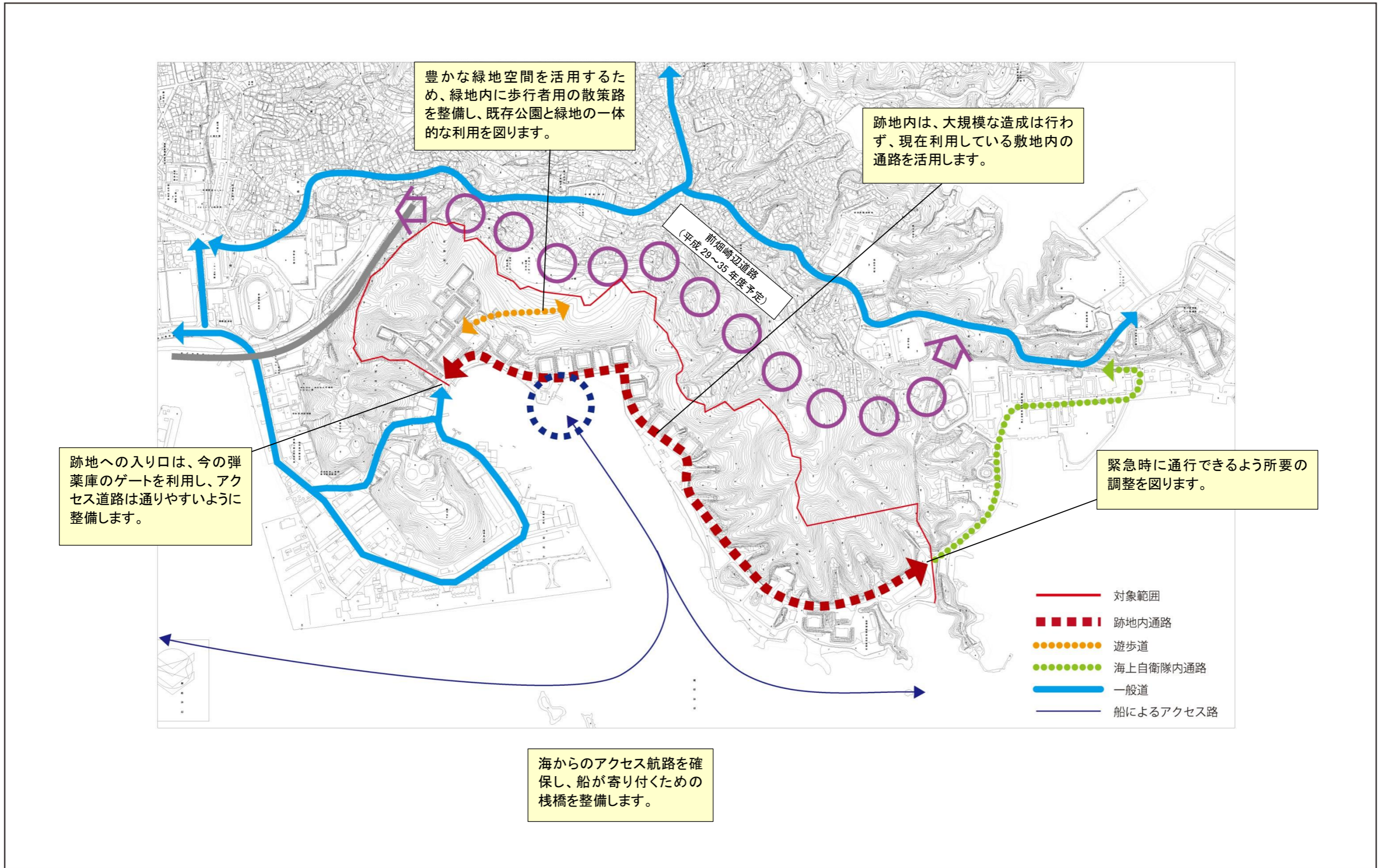
テーマ	自然的・歴史的資源を活かした観光振興	
イメージ図	<p>歴史記念ゾーン ・弾薬庫（建物を有形文化財に登録し、歴史公園として活用する。)</p> <p>文化・交流ゾーン① ・弾薬庫（建物をリノベーション（改修）して、教育関連等の複合施設として活用を図る。（イベント実施、ショップ、資料館、レンタル施設 等）</p> <p>斜面緑地保全ゾーン ・海から見た背景となる豊かな樹林地を保全する。</p> <p>海の玄関口 ・栈橋や受入施設の整備を図る。</p> <p>水辺の憩いゾーン ・自然地形を利用して水遊びが出来るような公園として整備する。</p> <p>安全安心な防災ゾーン ・大規模災害に対応できる体制づくりを図る。 ・自衛隊等との連携のマニュアル整備と定期的な実践練習を推進する。</p> <p>文化・交流ゾーン② ・観光客向けの物販・飲食等の商業施設の誘致を図る。 ・湾の眺望を活かした飲食関連の施設の誘致を図る。</p> <p>海からみた美しい景観の保全 ・海から見た背景の樹林地、沿岸の建物、海面が一体となった美しい景観を演出する。</p> <p>佐世保競輪場、西九州自動車道、天神公園、千尽公園、湾内クルーズとの連携</p> <p>0 100 200 500 1,000m</p>	
方針	<ul style="list-style-type: none"> ・自然的・歴史的資源を最大限活かし、観光振興を重視する。 ・豊かな緑地環境及び海から見た美しい景観を保全する。 	
プランの特徴	<p>(歴史記念ゾーン)</p> <p>(文化・交流ゾーン①)</p> <p>(海の玄関口)</p> <p>(文化・交流ゾーン②)</p> <p>(水辺の憩いゾーン)</p> <p>(安全安心な防災ゾーン)</p> <p>(斜面緑地保全ゾーン)</p>	<p>跡地の北側で、一般道からの入口に近い位置にある弾薬庫を保存し、歴史を見て学ぶ歴史公園としての活用を図る。</p> <p>跡地の中部付近で、大正期に作られた弾薬庫はリノベーションして、複合施設として活用を図る。</p> <p>入り江の奥は海からの観光客を受け入れるため、船がつく栈橋や受け入れ施設の整備を図る。</p> <p>海と緑に囲まれた落ち着いた環境の跡地中間部では、観光客向けの物販、飲食等の商業施設の展開を図る。特に、佐世保湾への眺望が開けた岬部は、飲食関連の施設の誘致を図る。</p> <p>跡地の南側で自然地形が残る環境を利用して、水遊びができる公園（海浜公園的なもの）としての整備を図る。※平時での利用を想定</p> <p>災害時における自衛隊等の展開場所のほか物資集積所としての活用を図る。※緊急時等の利用を想定</p> <p>山地の緑の保全を図る。</p>

◆概念図(イメージ図) B案

テーマ	立地環境を活かした産業振興	
イメージ図		
方針	<ul style="list-style-type: none"> 隣接する工業地と連携したみなとの振興を重視する。 豊かな緑地環境及び海から見た美しい景観を保全する。 	
プランの特徴	<ul style="list-style-type: none"> (みなとの振興ゾーン) 隣接する跡地北側の工業地と一体的な活用を図るため、跡地の北側から中部付近まで港湾関連施設等の整備・拡充を図る。 (歴史記念ゾーン) 跡地の北側で、一般道からの入口に近い位置にある弾薬庫を保存し、歴史を見て学ぶ歴史公園としての活用を図る。 (産業創出ゾーン) 跡地南側の落ち着いた環境で、ものづくり産業等の振興を図る。 (水辺の憩いゾーン) 跡地の南側で自然地形が残る環境を利用して、水遊びができる公園(海浜公園的なもの)としての整備を図る。※平時での利用を想定 (安全安心な防災ゾーン) 災害時における自衛隊等の展開場所のほか物資集積所としての活用を図る。※緊急時等の利用を想定 (斜面緑地保全ゾーン) 山地の緑の保全を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> (歴史記念ゾーン) 弾薬庫(建物を有形文化財に登録し、歴史公園として活用する。) (斜面緑地保全ゾーン) 海から見た背景となる豊かな樹林地を保全する。 (水辺の憩いゾーン) 自然地形を利用して水遊びが出来るような公園として整備する。 (安全安心な防災ゾーン) 大規模災害に対応できる体制づくりを図る。自衛隊等との連携のマニュアル整備と定期的な実践練習を推進する。 (みなとの振興ゾーン) 港湾関連施設等の整備・拡充を図る。 (産業創出ゾーン) 既存産業との連携、拡充につながる産業の導入を図る。立地条件を活かしたものづくり技術の導入、開発を図る。港の特性を活かした生産、加工、流通機能をもつ産業の誘致を図る。 海から見た美しい景観の保全 海から見た背景の樹林地、沿岸の建物、海岸線の自然地形、海面が一体となった美しい景観を演出する。

◆動線の方針図

跡地利用に関する動線の考え方を整理しました。



6章. 跡地利用構想の実現に向けて

跡地利用構想の実現に向けて考えられる課題などを示します。(注) 以下、骨子案です。

- 将来に向けて、公共投資額をできる限り抑制しつつ、選択と集中の考えに基づき、効率的かつ効果的に市民生活や地域経済活動等に必要な社会資本の整備と、質の高い公共サービスを提供することが求められています。
- 一方、本格的な少子高齢社会が到来する中、全国の情勢に漏れることなく佐世保市も厳しい財政状況や将来の財政負担等が推測されています。
- 「最少の経費で最大の効果を上げること」、「民間で可能な分野はできるだけ民間に任せること」という基本認識のもと、佐世保市が実施する公共施設等の整備運営に当たっては、「PFI (Private Finance Initiative : プライベート・ファイナンス・イニシアティブ)」だけでなく「PPP (Public Private Partnership : パブリック・プライベート・パートナーシップ)」も取り入れながら、様々な民間活力を活用した事業手法の導入を目指すべきだと考えます。
- 針尾島弾薬庫への移転の時期が決まれば、おのずと前畑弾薬庫の返還時期がみえてきますので、その段階で詳細な計画策定が必要と考えます。その際、広く市民総参加型による検討を行うものとし、検討の状況や結果を広く市民に公表しながら取り組むべきものと考えます。